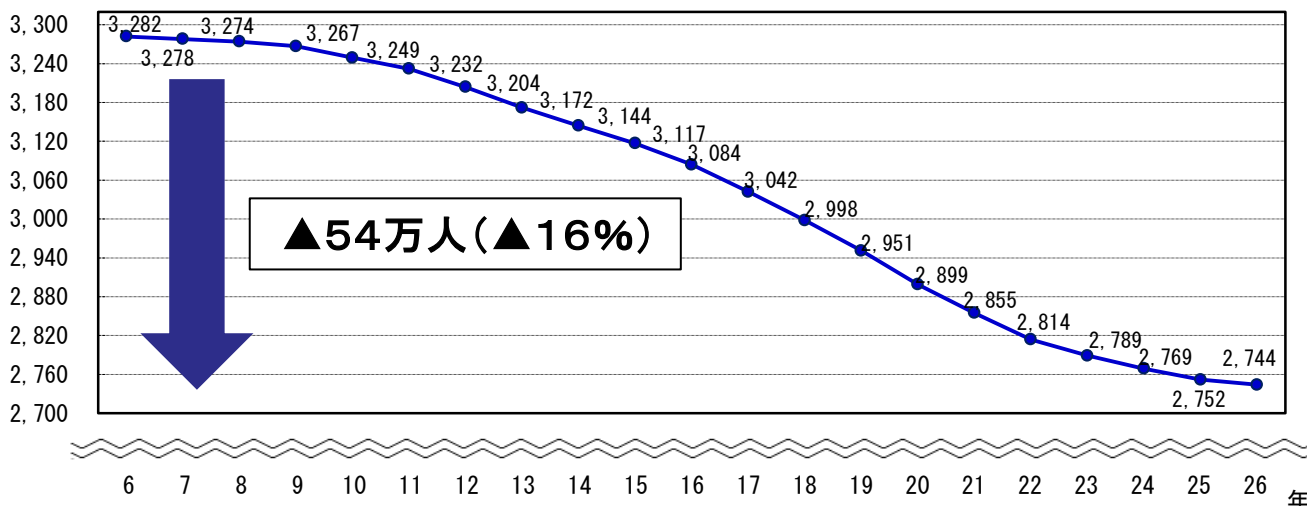


平成26年地方公共団体定員管理調査結果のポイント

(平成26年4月1日現在)

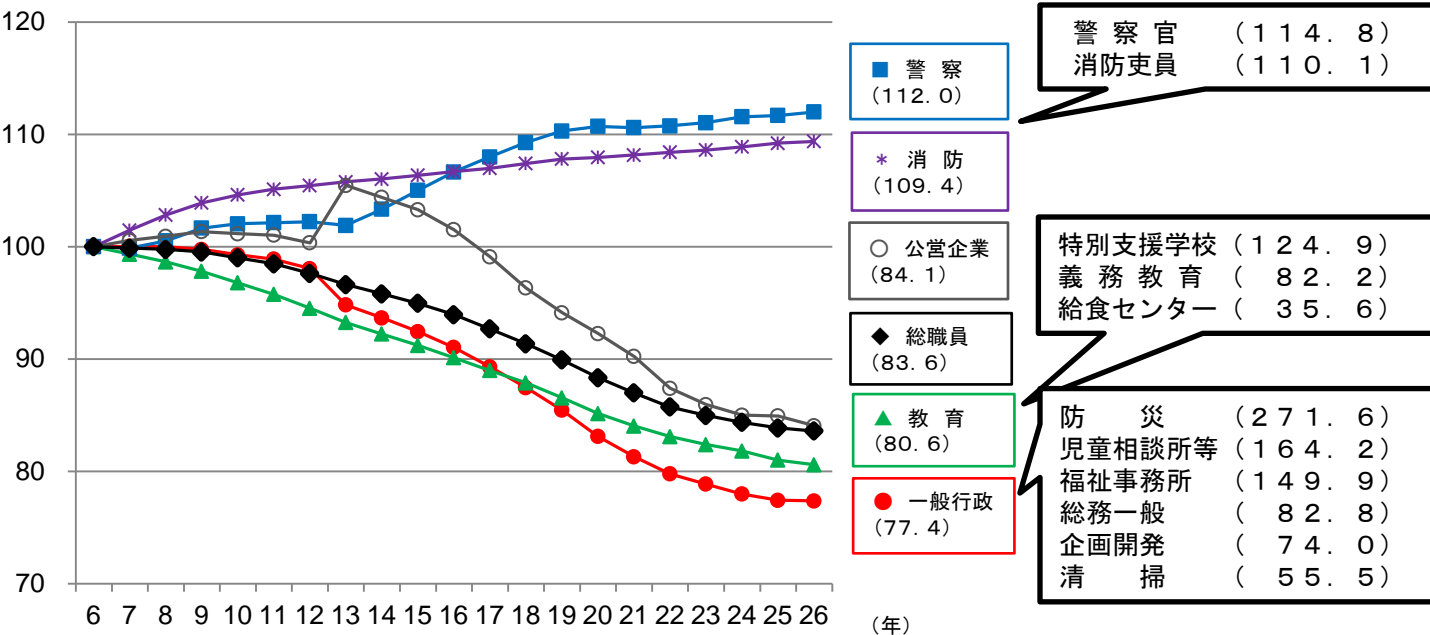
- 総職員数は、対前年比で約9千人減少し、約274万人。
平成6年をピークとして平成7年から20年連続で減少。
〔対平成6年比で約▲54万人(▲16%)〕

(単位:千人) 地方公共団体の総職員数の推移(平成6年～平成26年)



- 部門別に見ると、警察・消防部門で微増する中、一般行政部門及び教育部門等で減少。特に一般行政部門においては、対平成6年比で▲23%と減少している中、防災は約2.7倍、児童相談所等は約1.6倍、福祉事務所は約1.5倍に増員。

平成6年からの部門別職員数の推移(平成6年を100とした場合の指数)



※平成13年度に生じている一般行政部門と公営企業等会計部門の変動は、調査区分の変更によるもの。